



地域医療連携室だより

Vol.161



発行元 地方独立行政法人
 市立大津市民病院 地域医療連携室
 住所 〒520-0804
 滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
 電話 077-526-8192
 F A X 077-522-0192 発行日:2022年10月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に が 5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

Long term eGFR plot (LTEP:エルテップ)で腎予後不良症例を早期発見・早期介入



内科診療部長(腎臓内科部門) : 中澤 純

全国同様、滋賀県でも透析患者数は増加し続けており、2004 年末から 2020 年末まで平均約 72 人/年ずつ増加してきました。透析患者ひとりあたり約 500 万円/年の医療費を要すとされていますので、毎年約 3 億 6000 万円ずつ増加してきた計算となり、このままであれば持続不可能であることは容易に想像できます。

腎機能は糸球体数に規定され、糸球体数は出生時が最も多く、加齢とともに減少し増えることはありません。「腎機能悪化」と「糸球体数減少」はほぼ同義です。したがって、透析回避には糸球体数が減少しきる前に発見し、糸球体数の保持を目指した介入を行うことが重要です。

腎機能指標の eGFR は普段から相当大きく変動しており、3 年間程度の eGFR 推移を観察しても、eGFR 低下量が eGFR 変動幅に埋もれて気付くことが困難です。また、健診の eGFR 判定は、eGFR<60 で「要医療」となることが多いですが、eGFR ≥60 でも腎機能が低下し続けている腎予後不良症例が多く発見されています。得られる全ての eGFR の長期推移を一括表示する「Long term eGFR plot (略して LTEP:エルテップ)」はこの問題を解決します。

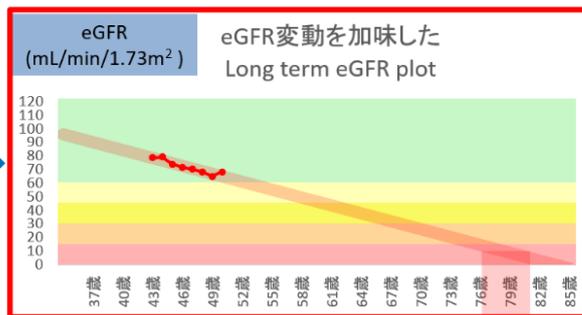
左図のような健診結果をよく目にすると思います。eGFR は 60 以上で 3 年間安定しており、問題ないように錯覚しがちです。しかし、右図のように LTEP で表示すると、7 年間 eGFR の低下が持続しており、70 代で透析に至る見込みであることがわかります。このまま放置すると、不可逆的な糸球体の減少が持続することになります。

市立大津市民病院の健診・人間ドックでは、5 年以上受診症例の検査結果を「eGFR 変動を加味した LTEP」で表示して返却することを開始し、腎予後不良症例の早期発見に取り組んでいます。すでに eGFR ≥60 の腎予後不良症例が次々と発見され、内科(腎臓内科部門)で早期介入を始めています。大切な患者さんの腎機能を終生保持するために、継続的な健診・人間ドック受診をご推奨下さい。

既存の健診結果

血中脂質検査	総コレステロール		
	中性脂肪		
	HDLコレステロール		
痛風検査	尿酸		
	尿酸窒素		
腎機能検査	クレアチニン		
	eGFR	68.3	64.9 68.3
	アミラーゼ		
膵臓機能	血糖		
	グリコA1C		

LTEPでの健診結果



LTEPのご希望は long.term.egfr.plot@gmail.com(中澤)まで

産経ニュース(8月16日)に取り上げられました。





放射線治療部門のご紹介

放射線科: ^{なかしま}中島 ^{りょうた}良太

平素より各地域の先生方におかれましては、患者様をご紹介頂き誠にありがとうございます。今回は、当院の放射線治療部門のご紹介をさせていただきます。

当院の放射線治療部門では、Elekta 社の Synergy という放射線治療装置を用いて診療を行っております。この Synergy は、3 種類のエネルギー(4MV, 6MV, 10MV)が使用可能であり、体のどの部位に対しても照射可能なだけでなく、照射部位の位置合わせにコンビーム CT による画像照合が利用可能な、非常に精度の高い治療装置になっております。この治療装置を用いて、大学病院から派遣されております非常勤医師 2 名、常勤の診療放射線技師 2 名に加え、看護師も常駐し、診療に当たっております。当院に常勤の放射線治療医はいませんが、放射線治療医が不在の場合には、各科常勤医師のバックアップ体制がしっかりと構築され、患者様に安心して放射線治療を受けて頂けるようになっております。

適応疾患としましては、全てのがん種に対応可能ですが、強度変調放射線治療や定位放射線治療を行うべき症例につきましては、連携している病院にご紹介する形で対応しております。昨年度、当院では様々ながん種の患者様 134 名に放射線治療を行いました。実際に治療を行ったがん種としましては、肺がん、乳がん、泌尿器がん(前立腺がんなど)、消化器がん(食道がん、胃がん、大腸がん、直腸がん、肝臓がん、胆嚢がん、膵臓がん)、頭頸部がん、血液腫瘍(リンパ腫、白血病)、脳腫瘍、皮膚がんなど、になります。

当院の放射線治療部門の特徴として、チーム一丸となって診療に当たることで、ご紹介頂いた当日に放射線治療準備のための CT を撮影し、翌日には放射線治療を開始するといったスムーズな診療体制が挙げられます。さらには、院内の各診療科と連携して診療に当たっておりますので、必要に応じて他の専門科を受診することが可能な点や、CT や MRI などの画像検査もすぐに受けることが可能な点も、特徴のひとつです。

放射線治療は根治照射や準根治照射に加えて、緩和照射まで幅広い状況に対応が可能です。各種がんの疑いのある患者様のみならず、遠隔転移による疼痛がある患者様などがおられましたらご紹介頂ければ幸いです。なお、紹介につきましては、地域医療連携室を通してご紹介頂ければ幸いです。今後も地域のがん診療に貢献して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



なかつ かなこ
中津 加奈子医師



なかしま りょうた
前列左より 2 番目 中島 良太医師

放射線治療部門スタッフ



乳腺外科のご紹介

乳腺外科:奥山^{おくやま} 結香^{ゆうか}

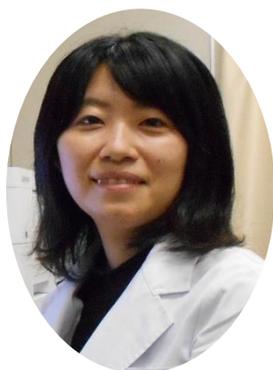
平素より各地域の先生方におかれましては、いつも患者様をご紹介頂き心より感謝申し上げます。乳腺外科 非常勤医師 奥山結香と申します。初期研修医時代には大津市民病院で2年間各科をローテーションさせて頂きました。普段は京都府立医科大学附属病院で勤務しておりますが、現在滋賀県在住であり、大津市民病院は大変お世話になった病院ですので、スタッフの皆様を支えられながら楽しく勤務しております。最近は休日に娘と家族で湖畔ピクニックをするのがささやかな楽しみです。

さて、今回は乳腺外科の紹介をさせていただきます。当科では、2020年11月より常勤医に加え非常勤勤務を行って参りましたが、2022年5月の常勤医退職後も引き続き水曜午前に乳腺外来を行っております。また、7月より診療体制を強化し月曜午前も松本沙耶医師による診察を行っております。両曜日とも女性医師によるきめ細やかな診察、また女性放射線技師によるマンモグラフィ撮像を行っておりますので女性患者様のニーズにもお答えでき、安心して受診して頂くことができます。3DMMG(digital breast tomosynthesis)も取り入れており、悪性が疑われる際には、針生検などの精密検査を受けることが可能です。

乳腺分野は特に up date が激しく数年でもめざましい発展を遂げ、一律の医療からオーダーメイド医療へと時代が変化しています。多遺伝子アッセイによる個人の再発リスクスコアの算出や化学療法の効果判定予測も可能となり、Oncotype DX に関しては保険収載間近となっています。また、乳がん全体の約10%に相当する遺伝性乳がんについても新たな動きがあります。BRCA1/2 遺伝子変異陽性乳がんの方で、術後再発高リスクと予測される場合、術後補助療法として PARP 阻害剤の内服が保険適応となりました。遺伝性乳がんの方には大変な朗報と思われれます。当院では BRCA1/2 遺伝子検査も受けることが可能です。

乳がん罹患数も年間9万人超と年々増加傾向です。若年～高齢の全年代にわたり罹患の可能性があり、特に働き盛りの40-50代、また家庭を支える60代にピークがあります。AYA(adolescent and young adult)世代という言葉も昨今珍しくなく30代、稀ですが20代の患者様もいらっしゃいます。この世代は特に就労や婚姻、妊娠出産などに影響を受けますが、早期発見し治療に迅速に繋げていくことが当科の使命であると考えております。

さて当院におきましては、関連施設と連携をとりながら診断から治療まで迅速に対応し診療体制を整えています。また今後も検診を含め診療体制の拡充を図るよう努めて参ります。かかりつけの先生方には是非、これからもより多くの地域の患者様の乳がん早期発見と治療にあたれますよう、ご紹介・連携をどうぞよろしくお願い申し上げます。



おくやま ゆか
奥山 結香医師



まつもと さや
松本 沙耶医師





訪問看護ステーションに異動しました



訪問看護ステーション

皮膚・排泄ケア認定看護師：大津 陽子

おおつ ようこ

2022年4月に大津市民病院から訪問看護ステーションへ異動して参りました皮膚・排泄ケア認定看護師の大津 陽子と申します。病院での勤務が長かったため、在宅分野は未知の世界でしたがステーションのスタッフに助けられ半年が過ぎました。訪問を行う中では褥瘡をはじめストーマ・スキンテアや排泄の問題など多岐にわたると実感しています。

ステーションでは褥瘡・ストーマを保有される方に本年4月に新設された「専門管理加算」を算定させて頂いております。これは研修を受けた看護師が訪問看護、計画的な管理を実施した場合に評価されるもので、その効果を実感していただける様に取り組んでいるところです。

皮膚・排泄ケア領域で悩みのある方には、様々な場面で多職種と連携し「在宅でも大丈夫！」と思っただけけるよう看護を提供して参りたいと考えています。地域医療に携わる皆様にはご指導・ご鞭撻をいただきながら、今後も頑張っ参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

2022年度滋賀県緩和ケア研修会 (市立大津市民病院会場)開催報告



2022年9月23日(金)に、当院で滋賀県緩和ケア研修会を開催しました。

この研修会は国のがん対策推進基本計画で、治療の初期段階からの緩和ケアが重点課題に挙げられたことを受けて、各都道府県で実施されている研修会です。今年度もCOVID-19の状況を考慮し、院内職員のための募集といたしました。

研修会は「e-learning」と、当日の集合研修からなっています。集合研修は「がん告知を医師役、患者役のそれぞれになって体験するロールプレイ」、「患者さんの治療・ケア計画を多職種で立てるグループワーク」等のプログラムになっています。

今回は、参加者は医師や看護師(相談員も含む)、歯科衛生士の15人でした。15人中9人は当院の研修医で、これからの医療を担う医師の学びの場にもなっています。

受講後のアンケートでは「参加型のグループワークが非常に有意義で勉強になった。」、「他職種と連携することで患者によりよい医療を提供できるのだと改めて実感した。」との意見が聞かれ、充実した研修会となりました。



MSW アイコさん



クイズの答え：2ページ目 右下/3ページ目 左下/4ページ目 左上/中央右/MSW アイコさんタイトル内

※マスクは外して描いています。